



# 平成30年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 (株)アルバック  
 コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 岩下 節生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 梅田 彰

TEL 0467-89-2033

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成30年6月期第1四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	60,943	21.7	8,900	38.6	9,174	49.2	6,333	24.7
29年6月期第1四半期	50,072	0.2	6,422	20.8	6,149	26.9	5,080	56.4

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 7,429百万円 (37.2%) 29年6月期第1四半期 5,415百万円 (855.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	128.53	
29年6月期第1四半期	102.95	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第1四半期	257,023	109,123	40.2
29年6月期	245,306	104,917	40.2

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 103,209百万円 29年6月期 98,688百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期				50.00	50.00
30年6月期					
30年6月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	121,000	8.0	17,000	18.0	17,000	16.1	13,500	19.4	273.99
通期	245,000	5.7	33,000	12.0	33,000	11.1	27,500	12.4	558.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期1Q	49,355,938 株	29年6月期	49,355,938 株
期末自己株式数	30年6月期1Q	83,577 株	29年6月期	83,577 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期1Q	49,272,361 株	29年6月期1Q	49,346,405 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	平成29年6月期 第1四半期	平成30年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	50,002	80,957	61.9%
売上高	50,072	60,943	21.7%
営業利益	6,422	8,900	38.6%
経常利益	6,149	9,174	49.2%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	5,080	6,333	24.7%

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資や輸出、生産が持ち直し、緩やかな回復基調が続いてまいりました。米国では、個人消費や設備投資の増加などにより景気の回復が続いてまいりました。欧州では、消費が増加し、機械設備投資が持ち直すなど、景気は緩やかに回復してまいりました。中国では、各種政策効果もあり、景気に持ち直しの動きが見られました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、データセンター向けサーバー需要の増加等によるメモリ需要の拡大を受け、半導体メモリーメーカーにおける設備投資が増加しました。またフラットパネルディスプレイ(FPD)業界においては、テレビ用パネルの大型化、高精細化が進み、大型液晶パネル製造向けの設備投資が中国を中心として拡大、スマートフォン向け有機ELパネルの設備投資とともに高水準で推移しました。

このような状況において、当第1四半期連結累計期間につきましては、受注高は809億57百万円(前年同期比309億54百万円(61.9%)増)、売上高は609億43百万円(同108億70百万円(21.7%)増)となりました。また、損益につきましては、営業利益は89億円(同24億79百万円(38.6%)増)、経常利益は91億74百万円(同30億25百万円(49.2%)増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、63億33百万円(同12億53百万円(24.7%)増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

「真空機器事業」

(単位：百万円)

	平成29年6月期 第1四半期	平成30年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	42,724	73,454	71.9%
売上高	42,358	53,731	26.8%
営業利益	5,886	8,383	42.4%

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりであります。

(FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置は、中国を中心としたテレビ向け大型液晶製造装置やスマートフォン向け中小型有機EL製造装置が増加し、受注高、売上高ともに前年同期を大きく上回りました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連は、メモリ向け投資の拡大に伴い、スパッタリング装置や自然酸化膜除去装置が増加、電子部品関連は、モバイル機器向け高機能デバイス製造装置などが堅調に推移し、前年同期を上回る受注高、売上高となりました。

(コンポーネント)

有機EL製造装置に搭載するクライオポンプをはじめ、FPD、半導体、電子部品業界や自動車関連向け真空ポンプや計測機器が堅調に推移し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉などを中心に受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

その結果、真空機器事業の受注高は734億54百万円、受注残高は1,211億54百万円、売上高は537億31百万円となり、83億83百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	平成29年6月期 第1四半期	平成30年6月期 第1四半期	前年同期比 (増減率)
受注高	7,279	7,502	3.1%
売上高	7,714	7,211	△6.5%
営業利益	547	521	△4.7%

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりであります。

(材料)

主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に前年同期を上回る受注、売上を計上いたしました。

(その他)

マスクブランクス関連は、高精細、高機能ディスプレイパネルや車載及び産業用半導体需要の増加を受け概ね堅調に推移いたしました。一方、分析機器関連は、受注高、売上高とも、全般的に低調な結果となりました。

その結果、真空応用事業の受注高は75億2百万円、受注残高は54億88百万円、売上高は72億11百万円となり、5億21百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ、117億16百万円増加となりました。主な内容は、現金及び預金が58億36百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が48億60百万円増加したこと、たな卸資産が27億85百万円増加したことなどです。

(負債)

前連結会計年度末に比べ、75億10百万円増加となりました。主な内容は、前受金が71億57百万円増加したこと、支払手形及び買掛金が29億21百万円増加したこと、一方で、長期借入金が16億63百万円減少したことなどです。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ、42億6百万円増加となりました。主な内容は、利益剰余金が38億65百万円増加したことなどです。

### ②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加、前受金の増加などのプラス要因に対し、売上債権の増加、たな卸資産の増加などのマイナス要因により、123億51百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、21億42百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入金の減少、配当金の支払などにより、49億11百万円の支出となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、55億33百万円増加し、530億88百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、平成29年8月9日に公表しました平成30年6月期の連結業績予想を修正することといたしました。当該予想に関しては、本日(平成29年11月10日)公表しました「平成30年6月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

(注)この決算短信で述べている将来の当社に関する見通しは、現時点で把握しうる情報をもとに作成したものです。当社グループの主要取引先であるFPD、半導体及び電子部品業界は、特に技術革新のスピードが大変速く、かつ、競争の激しい産業です。また、世界経済、為替レートの変動、原材料価格、FPD、半導体及び電子部品の市況、設備投資の動向など、当社グループの業績に直接的、間接的に影響を与える様々な外部要因があります。従いまして、実際の売上高及び利益は、この決算短信に記載している予想数値とは大きく異なる可能性のあることをご承知おきください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	56,434	62,270
受取手形及び売掛金	70,519	75,379
商品及び製品	5,097	4,512
仕掛品	15,880	18,710
原材料及び貯蔵品	9,240	9,780
繰延税金資産	6,027	5,674
その他	7,299	5,515
貸倒引当金	△811	△874
流動資産合計	169,685	180,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,229	31,976
機械装置及び運搬具（純額）	14,451	14,061
工具、器具及び備品（純額）	1,647	1,653
土地	8,096	8,096
リース資産（純額）	834	804
建設仮勘定	3,049	3,749
有形固定資産合計	60,306	60,339
無形固定資産		
リース資産	67	102
ソフトウェア	690	895
その他	2,815	2,655
無形固定資産合計	3,573	3,651
投資その他の資産		
投資有価証券	4,389	4,709
繰延税金資産	2,298	2,306
その他	7,107	7,103
貸倒引当金	△2,051	△2,051
投資その他の資産合計	11,743	12,067
固定資産合計	75,622	76,057
資産合計	245,306	257,023

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,829	51,750
短期借入金	30,199	30,210
リース債務	315	315
未払法人税等	2,525	1,907
前受金	16,908	24,064
繰延税金負債	10	12
賞与引当金	2,738	4,461
役員賞与引当金	401	106
製品保証引当金	2,069	1,662
受注損失引当金	785	511
その他	11,175	10,200
流動負債合計	115,954	125,198
固定負債		
長期借入金	12,528	10,865
リース債務	692	696
繰延税金負債	1,408	1,472
退職給付に係る負債	8,311	8,230
役員退職慰労引当金	335	271
役員株式給付引当金	74	92
資産除去債務	392	393
その他	694	682
固定負債合計	24,436	22,702
負債合計	140,389	147,900
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	73,801	77,666
自己株式	△271	△271
株主資本合計	98,315	102,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	491	495
為替換算調整勘定	2,480	3,066
退職給付に係る調整累計額	△2,599	△2,532
その他の包括利益累計額合計	372	1,028
非支配株主持分	6,229	5,914
純資産合計	104,917	109,123
負債純資産合計	245,306	257,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	50,072	60,943
売上原価	35,692	42,929
売上総利益	14,380	18,013
販売費及び一般管理費	7,959	9,113
営業利益	6,422	8,900
営業外収益		
受取利息	24	28
受取配当金	149	137
持分法による投資利益	42	42
その他	190	303
営業外収益合計	404	510
営業外費用		
支払利息	152	102
為替差損	309	—
その他	216	135
営業外費用合計	677	236
経常利益	6,149	9,174
特別損失		
固定資産除却損	—	31
特別損失合計	—	31
税金等調整前四半期純利益	6,149	9,142
法人税、住民税及び事業税	1,212	2,033
法人税等調整額	△492	387
法人税等合計	720	2,420
四半期純利益	5,429	6,723
非支配株主に帰属する四半期純利益	349	390
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,080	6,333

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	5,429	6,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	71	2
為替換算調整勘定	△146	640
退職給付に係る調整額	69	67
持分法適用会社に対する持分相当額	△9	△2
その他の包括利益合計	△14	706
四半期包括利益	5,415	7,429
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,070	6,989
非支配株主に係る四半期包括利益	345	440

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,149	9,142
減価償却費	1,557	1,572
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	50
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,480	1,714
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△23	△14
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△27	△64
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	-	17
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△6	△415
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△38	△275
受取利息及び受取配当金	△172	△165
支払利息	152	102
売上債権の増減額(△は増加)	△2,780	△4,508
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,679	△2,531
仕入債務の増減額(△は減少)	2,326	2,709
前受金の増減額(△は減少)	5,227	7,009
未払消費税等の増減額(△は減少)	△212	△586
その他	2,173	1,230
小計	14,124	14,987
利息及び配当金の受取額	184	176
利息の支払額	△159	△101
法人税等の支払額	△2,505	△2,711
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,643	12,351
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,783	△345
定期預金の払戻による収入	1,005	73
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,232	△1,642
関係会社株式の取得による支出	-	△297
その他	7	70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,003	△2,142
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△659	73
長期借入金の返済による支出	△2,662	△1,764
配当金の支払額	△1,426	△2,384
その他	△450	△835
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,198	△4,911
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	234
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,400	5,533
現金及び現金同等物の期首残高	44,862	47,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	49,262	53,088

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	42,358	7,714	50,072	—	50,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	584	185	768	△768	—
計	42,942	7,899	50,841	△768	50,072
セグメント利益	5,886	547	6,433	△11	6,422

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	53,731	7,211	60,943	—	60,943
セグメント間の内部売上高 又は振替高	621	389	1,010	△1,010	—
計	54,352	7,600	61,952	△1,010	60,943
セグメント利益	8,383	521	8,904	△4	8,900

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
真空機器事業	53,731	126.8
真空応用事業	7,211	93.5
合計	60,943	121.7

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
FPD及びPV製造装置	28,883	53.7
半導体及び電子部品製造装置	10,895	20.3
コンポーネント	8,634	16.1
一般産業用装置	5,318	9.9
計	53,731	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりであります。

品目	当第1四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
材料	4,002	55.5
その他	3,209	44.5
計	7,211	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。